

本日のおもちかえり

2018年5月6日

1)ローマ16章1節-16節を読みましょう。「キリスト・イエスにある私の同労者プリスキラとアクラ」について、あなたが知ることは何ですか。(参考:使徒行伝18章1節-4節、←この時のパウロの心境→1コリント2章1節-5節)。

2)ここには妻プリスキラの名前がアクラよりも先に書かれています。これはどんな意味がありますか。彼らに対して、どんな夫婦像を想像できますか。

3)パウロはプリスキラとアクラからどんな影響を受けたと思いますか。彼らはどんな背景をもって夫婦となっていましたか。

4)ローマ16章13節をご覧ください。「主にあって選ばれたルポスと彼の母」についてマルコ15章21節から何がわかりますか。クレネ人シモンとは誰ですか？

5)なぜルポスと彼の母はパウロを支える者達となったのでしょうか。親から子への信仰の継承とはどのようになされていきますか。

6)ローマ16章11節をご覧ください。「同属のヘロデオン」という名前から思い起こされる「ヘロデ」という人物はどんな人ですか(マタイ2章13節-15節)。

7)キリストにある救いは自分の過去とか血筋によって閉ざされてしまうのでしょうか。

8)プリスキラとアクラ、ルポスとその母、ヘロデオンがら私達が受け取ることができるメッセージは何でしょうか。

『主を仰ぎ見て、光を得よ、そうすれば、あなたがたは、恥じて顔を赤くすることはない』
(詩篇43篇5節)。 主を仰いで、毎日を過ごしましょう！